

2022年12月21日

第73回 NHK 紅白歌合戦



<ゲスト審査員決定>

<第73回NHK紅白歌合戦 放送予定>

12月31日(土)19:20~23:45

※中断ニュースあり

NHK総合 BS4K BS8K ラジオ第1

<ゲスト審査員>

(五十音順)

あしだ まな
芦田 愛菜

(俳優)

くろやなぎ てつこ
黒柳 徹子

(俳優)

にしむら こうどう
西村 宏堂

(アーティスト・僧侶)

はにゅう ゆづる
羽生 結弦

(プロスケート選手)

ばんどう や じゅうろう
坂東彌十郎

(歌舞伎俳優)

ふくはら はるか
福原 遥

(俳優)

まつもと じゅん
松本 潤

(俳優・歌手)

むらかみ むねたか
村上 宗隆

(プロ野球選手)

もりやす はじめ
森保 一

(サッカー日本代表監督)

よしだ みやこ
吉田 都

(新国立劇場舞踊芸術監督)

芦田 愛菜 (あしだ まな)

2004年生まれ。兵庫県出身。

2010年、5歳の時に出演したドラマ「Mother」で脚光を浴び、

2011年、ドラマ「マルモのおきて」では連続ドラマ初主演。

主題歌「マル・マル・モリ・モリ！」を歌い、第62回NHK紅白歌合戦に出場した。

2013年、映画「パシフィック・リム」でハリウッドデビュー。

大河ドラマには、

2011年の「江～姫たちの戦国～」と2019年の「麒麟がくる」に出演。

2018年の連続テレビ小説「まんぷく」では史上最年少で語りをつとめる。

2022年、テレビCMの年間放送回数と年間起用社数で1位に輝いた。



黒柳 徹子 (くろやなぎ てつこ)

東京都出身。

NHK 専属の女優第1号としてデビュー。

「夢であいましょう」「ザ・ベストテン」など、数々のテレビ番組に出演。

日本のテレビ史を代表する一人。

1976年より自身が司会をつとめる「徹子の部屋」がスタート、

2011年に「同一の司会者による番組の最多放送回数」が

世界記録に認定された。

「NHK紅白歌合戦」では、

1958年の第9回、1980年の第31回から4年連続、

通算5回、紅組司会をつとめた。

また2015年の第66回では総合司会をつとめた。

ゲスト審査員としての出演は、

2014年の第65回、2020年の第71回に続き、3度目。



撮影：下村一喜

西村 宏堂

(にしむら こうどう)

1989年生まれ。東京都出身。

ニューヨークのパーソンズ美術大学を卒業後、アメリカを拠点にミス・ユニバース世界大会などでメイクアップアーティストとして活動。

2015年、浄土宗の僧侶となる。

LGBTQ 活動家として「性別も人種も関係なく皆平等」というメッセージを日本語、英語、スペイン語などで発信し、

ニューヨーク国連人口基金本部、イエール大学、増上寺などで講演を行う。

著書「正々堂々 私が好きな私で生きていいんだ」は8カ国語で出版される。

2021年には TIME 誌「次世代リーダー」に選出された。

2022年にNHKワールドで放送された密着ドキュメンタリー

「A Monk Who Wears Heels(ハイヒールを履いた僧侶)」は、

第5回アジアン・アカデミー・クリエイティブ・アワーズ ライフスタイル部門で最優秀賞にノミネートされた。



(c)Seth Miranda

羽生 結弦

(はにゅう ゆづる)

1994年生まれ。宮城県出身。

2014年ソチ・2018年平昌オリンピック

2大会連続で金メダルを獲得。

2022年の北京オリンピックでは4回転アクセルに挑戦し、国際スケート連盟公認大会で初めての認定を受けた。

2022年7月、プロスケーターに転向。

11月～12月にかけて、

自身が企画・出演した単独アイスショーを開催。

来年2月には、スケーターとしては史上初となる

東京ドーム単独公演 Yuzuru Hanyu ICE STORY 2023 “GIFT” at Tokyo Dome を予定している。

「NHK紅白歌合戦」のゲスト審査員としての出演は、2015年の第66回以来、2回目。



写真:Getty Images

坂東 彌十郎 (ばんどう やじゅうろう)

1956年生まれ。東京都出身。

父は銀幕のスターだった初代坂東好太郎。

1973年、歌舞伎座「奴道成寺」で初舞台。

1983年から二代目市川猿翁の門下に入り、
若手ユニット「21世紀歌舞伎組」の一員としても活躍した。

その後、十八代目中村勘三郎とも数多く共演し、
コクーン歌舞伎や平成中村座にも参加。

野田秀樹、三谷幸喜、宮藤官九郎らが手掛けた
歌舞伎作品にも出演している。

2022年の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に北条時政役で出演、
その深みのある演技が評判となった。



福原 遥 (ふくはら はるか)

1998年生まれ。埼玉県出身。

小学1年生のときに子役としてデビュー。

2009年、NHK・Eテレの子供向け食育・料理番組
「クッキングアイドル アイ！マイ！まいん！」の
主人公として出演し、注目を浴びる。

2017年に映画「チア☆ダン 女子高生がチアダンスで
全米制覇しちゃったホントの話」に出演。

2018年「声ガール！」で連続テレビドラマ初主演、

2019年には歌手デビューを果たす。

NHK では、2013年から2016年まで、

Eテレの「スイエンサーガールズ」を務めたほか、2022年のドラマ10「正直不動産」に出演。

現在放送中の連続テレビ小説「舞いあがれ！」でヒロインの岩倉舞を演じている。



松本 潤 (まつもと じゅん)

1983年生まれ。東京都出身

1996年、中学1年生のときに芸能界デビュー。

1999年、アイドルグループ「嵐」のメンバーとして歌手デビュー。

「金田一少年の事件簿(第3シリーズ)」(2001)、「ごくせん(第1シリーズ)」(2002)、「花より男子」(2005、2007)シリーズに出演、俳優として大きな注目を浴びるとともに、バラエティー番組・CM・舞台出演など、幅広いジャンルで活躍し、絶大な人気を集める。

2016年、2018年のTBS・日曜劇場「99. 9-刑事専門弁護士-」シリーズ、2022年 テレビ朝日・木曜ドラマ「となりのチカラ」に主演。

NHKでは、特集ドラマ「はじまりの歌」(2013)、「永遠のニシパ～北海道と名付けた男 松浦武四郎～」(2019)などに主演。

NHK 紅白歌合戦には、「嵐」のメンバーとして12回の出場、5回の司会出演を果たした。

2023年大河ドラマ「どうする家康」では主人公の徳川家康を演じる。



村上 宗隆 (むらかみ むねたか)

2000年生まれ。熊本県出身。

九州学院高等学校では高校通算52本塁打。

2017年のドラフト会議で東京ヤクルトスワローズから1位指名。

1年目の2018年、プロ初打席で初本塁打をマーク。

2019年、プロ野球史上最年少でのサヨナラ本塁打を含め、

36本塁打、96打点をマーク、セ・リーグの新人王に輝いた。

2021年、39本塁打で本塁打王、セ・リーグの MVP を獲得。

今シーズンは、8月に史上最年少の40号本塁打、

プロ野球新記録となる5打席連続本塁打を打つなど次々と記録を更新、

日本選手最多となる56本の本塁打を記録し、

史上最年少(22歳)での三冠王(首位打者・本塁打王・打点王)に輝いた。



(c)ヤクルト球団

森保 一

(もりやす はじめ)

1968年生まれ。長崎県長崎市出身。

1987年 マツダサッカークラブ(現・サンフレッチェ広島)入団。

1992年 日本代表に初招集。

1993年 ワールドカップアメリカ大会アジア最終予選には、ミッドフィルダーとして出場し、「ドーハの悲劇」を経験。

2003年までサンフレッチェ広島、京都サンガ、ベガルタ仙台の選手として活躍。

2004年から指導者に。

2012年 サンフレッチェ広島の監督となり、就任1年目でJ1優勝に導く。

2017年 東京オリンピック・代表監督に就任。

2018年 日本代表監督にも就任。その後、アジア最終予選を突破し、7大会連続7回目のワールドカップ出場を決めた。

2022年 ワールドカップカタール大会では、1次リーグで、優勝経験のあるドイツ、スペインに逆転勝利。グループ首位で決勝トーナメント進出を果たした。選手の交代やフォーメーションの変更など、積極的な采配は国内外で称賛された。



吉田 都

(よしだ みやこ)

1965年生まれ。東京都出身。

9歳でバレエを習い始め、

1983年、ローザンヌ国際バレエコンクールでローザンヌ賞受賞後、英国ロイヤルバレエスクールに留学。

1984年、現バーミンガムロイヤルバレエ団に入団。

1988年、プリンシパルに昇格。

1995年、英国ロイヤルバレエ団に移籍。

22年間にわたり、最高位であるプリンシパルを務めた。

ユネスコ平和芸術家、国連UNHCR難民サポーターに任命され、紫綬褒章、大英帝国勲章(OBE)など受賞歴も多数。

2017年、文化功労者に選出された。

2019年、バレエ文化の世界的功績と、引退まで多くのファンを魅了したことに対して、菊池寛賞を受賞。

2020年9月、新国立劇場舞踊芸術監督に就任。今年、新国立劇場バレエ団のダンサーたちに呼びかけ、ウクライナの平和への祈りを込めた動画「A Prayer for PEACE」を配信した。

「NHK紅白歌合戦」のゲスト審査員としての出演は、2006年の第57回以来、2回目。



<審査方法について>

★「第73回NHK紅白歌合戦」における、紅組・白組の勝敗は、

- テレビをご覧の視聴者のみなさま… 「視聴者審査員」
- NHKホールでご覧のお客さま… 「会場審査員」
- 番組にご出演いただく10人… 「ゲスト審査員」

以上のみなさまの投票にて、決定いたします。なおその投票は、すべての対戦が終わったあとに実施いたします。

★そしてその勝敗は、

- 「視聴者審査員」で投票数が多かったほうに、1ポイント
- 「会場審査員」で投票数が多かったほうに、1ポイント
- 「ゲスト審査員」で投票数が多かったほうに、1ポイント

以上の3ポイントを競い、2つ以上のポイントを獲得した組が「優勝」となります。

<視聴者投票の概要>

- ・テレビ1台あたり、最大5票。
 - ・投票できる「票」の数は、テレビの視聴時間に応じて増える。
 - ・放送を視聴し始めたら1票獲得。その後、5分連続視聴を10回達成するごとに票が増える。
 - ・全対戦終了後の投票時間中、テレビのリモコンボタンで紅白どちらかを選んでいただくと、選んだ組に票が入る。
 - ・お持ちの票を分割して投票することもできます。(紅組に3票、白組に2票など)
- 総合テレビでご覧のみなさまはもちろん、BS4K・BS8Kでご覧の方も、視聴者審査員として投票に参加できます。
是非ご参加ください！

※投票方法は、総合テレビのデータ放送、BS4K/8Kのデータサービスからの投票となります。

紅組に投票する場合はリモコンの「赤ボタン」、白組に投票する場合は「青ボタン」を押していただきます。

データ放送・データサービスからの投票には、デジタル放送受信機をインターネットに接続する必要があります。

NHKプラスやワンセグ放送からの投票はできません。

詳細は、公式ホームページ(<https://nhk.jp/kouhaku>)でご確認ください。